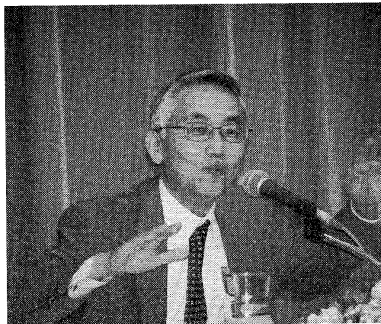


(3) 平成19年7月15日(日曜日)



熱弁をふるう内海善雄・前NTT事務総局長

皆さんは不思議に思われるが、スイスという国では、アラビア語が通用する。年一回、中東各地の石油王たちが避暑を兼ねてスイスにきて、スイス銀行に預けた預金残高をチェックする。スイス人にとって昔から大事なお客様だからアラビア語を学ぶのだ。国の国際信用を損ねる大変だが、クリーンな国のイメージづくりに余念がない。米国と同じ統括的なのに、統括の事件や事



(第120回)

## 前NTT事務総局長 内海善雄氏

## ジュネーブから見た日本IT企業への期待

二〇一〇年に決めるNTTの経営形態に関係者の関心を集めているが、情報通信分野の国際ルールを作る国連専門機関、国際電気通信連合(ITU)のトップを二期八年間勤めて帰国した内海善雄・NTT前事務総局長は、六月二十日に開かれたMフォーラム21第百二十回の例会で「ジュネーブから見た日本IT企業への期待」と題する講演をした。この講演と質疑を通じて「NTTは過去の貢献の高さをいかに甘えが出ていないか。半面、総務省の方も競争政策を国内市場に限定し、世界市場をまるで視に入れないという誤りを犯している」と発言をして注目された。以下は講演と質疑内容の要旨。

熱弁をふるう内海善雄・前NTT事務総局長

皆さんは不思議に思われるが、スイスという国では、アラビア語が通用する。年一回、中東各地の石油王たちが避暑を兼ねてスイスにきて、スイス銀行に預けた預金残高をチェックする。スイス人にとって昔から大事なお客様だからアラビア語を学ぶのだ。国の国際信用を損ねる大変だが、クリーンな国のイメージづくりに余念がない。米国と同じ統括的なのに、統括の事件や事

競争力が付かないのか。その回答は簡単である。日本企業はどこでもいわゆるオールジャパン体制を敷いて、誰もリスクを取らないからだ。その結果、また

競争力が付かないのか。その回答は簡単である。日本企業はどこでもいわゆるオールジャパン体制を敷いて、誰もリスクを取らないからだ。その結果、また

競争の土俵は海外にあり  
視野狭窄症に陥るな

内というコップの中の出来事しか報道しない。それ以来、買わなくなった。グローバル化の時代を迎え、日本人は常に世界の目を意識した判断を下さねばならない。各国はグローバル戦略の中で、自国の利益を求めて、一国のトップが「セールス外交」を強力に展開している。四年前にシ

競争の土俵は海外にあり  
視野狭窄症に陥るな

分野で共同開発するという方向だろう。それに地方のある技術者を優遇すること。技術者が3K職場だといって敬遠され、東大生が役所を受験しなくなるの風潮は不承ろしい。この人たちは高望で優秀な人材は日本の明日はない。日本政府に対しては、何よりも国際的な人事交流を積極的に進めてもらいたい。さもないと、日本人はいよいよ井の中の蛙になってしまう。ジュネーブで日経新聞を日経新聞の記事を読む。世界の流れを頭から無視している。日本国

内というコップの中の出来事しか報道しない。それ以来、買わなくなった。グローバル化の時代を迎え、日本人は常に世界の目を意識した判断を下さねばならない。各国はグローバル戦略の中で、自国の利益を求めて、一国のトップが「セールス外交」を強力に展開している。四年前にシ

競争の土俵は海外にあり  
視野狭窄症に陥るな

分野で共同開発するという方向だろう。それに地方のある技術者を優遇すること。技術者が3K職場だといって敬遠され、東大生が役所を受験しなくなるの風潮は不承ろしい。この人たちは高望で優秀な人材は日本の明日はない。日本政府に対しては、何よりも国際的な人事交流を積極的に進めてもらいたい。さもないと、日本人はいよいよ井の中の蛙になってしまう。ジュネーブで日経新聞を日経新聞の記事を読む。世界の流れを頭から無視している。日本国

それは、競争の土俵は海外にあり、視野狭窄症に陥るな。ジュネーブから見た日本IT企業への期待。前NTT事務総局長 内海善雄氏。